



ちょっとひと休み（横瀬保育所運動会）

いきいきとした町づくりをめざして

議会だより かつうら

No.21

2002. 11. 1 発行

発行 徳島県勝浦町議会
編集 議会広報調査特別委員会

〒771-4395 徳島県勝浦郡勝浦町久国
TEL (08854) 2 - 2511

このようなことが決まりました — 2

常任委員会の活動 — 4

特別委員会の活動 — 6

12議員の一般質問 — 7

声のひろば — 18

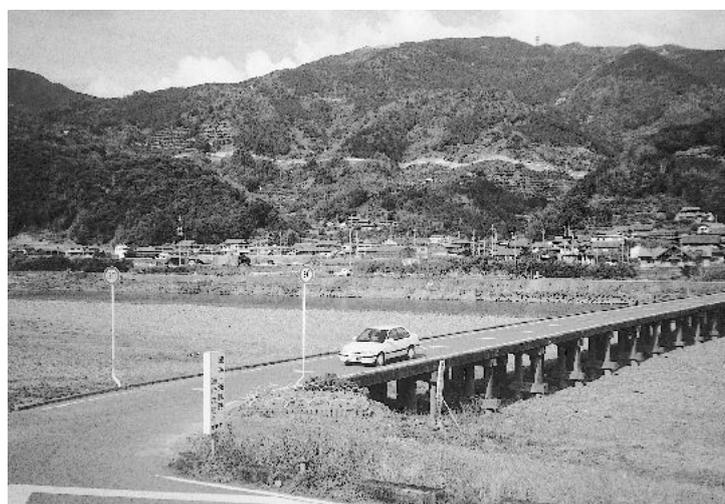
補正予算 万円を可決

(総額 34億2,164万円)

9月定例会

補正予算の主なもの

財産管理費 (役場内の冷暖房設備改修)	2,950万円
町単道路改良費 (うち星谷橋危険防止 1,500万円)	2,500万円
林道開設事業費 (立川-相生線工事など)	968万円
土地改良事業推進費 (畑総事業負担金など)	655万円
消 防 費 (団員制服、詰所修繕など)	546万円
学校管理費 (中学校体育館修繕)	221万円



危険防止工事が計画されている星谷橋

このようなことが決まりました

九月定例会は、九月十日から二十五日までの十六日間開かれ、平成十四年度一般会計補正予算、今山地区基盤整備促進事業計画など八議案を慎重に審議し、全員一致で可決しました。また、十三年度各会計の決算認定については、総務常任委員会に付託しました。一般質問では、十二議員が町の考えをただしました。

一般会計

9,012



空き教室を改造し、学童保育

議案に対する 主な質疑

問 役場内の冷暖房設備改修はどんな工事になるのか。また、日常の業務に影響が出ることはないか。

答 町長 今の設備が古くなり、十分な効果が発揮できないので、各部屋ごとに新しい機械を導入したい。業務には支障のないようにしたい。

問 土地改良事業費負担金の割合は。

答 町長 企業局と建設当時の確約で町は十二%となっている。

問 林道、立川―相生線の完成はいつ。

答 建設課長 全長三千五百三十mの計画で、現在できているのが千二百五十五m、残りが二千二百m余りあり、あと十五年以上かかる見込みである。

問 今山地区基盤整備促進事業（今山用水）の負担割合は。

答 建設課長 国が五十五%、県五%、町と地元が二十%ずつとなっている。



改修される今山用水

教育委員会委員に

武田 京氏（中角）の
任命に同意

固定資産評価審査委員会委員に

武田 博之氏（与川内）の
選任に同意

総務

役場の空調設備を改修

九月三日に委員会を開き、一般会計補正予算と、徳バス路線の一部廃止、救急患者輸送車業務委託契約などについて審議しました。
また、固定資産評価審査委員と、教育委員の任期満了について説明がありました。

補正予算について

問 役場内全部の空調を取り替えるのか。
答 総務課長 一部を残し、大部分を取り替える。



古くなった役場内の空調設備

問 勝中体育館の修繕箇所は。
答 教育委員会事務局長 屋根の老朽化によるもので、落下物もあり危険なので修繕する。

問 消防費の補正内容は。
答 総務課長 全団員の制服購入と、詰所三か所の修繕工事である。

問 徳バス路線の一部廃止はどこか。また、現在、町負担金はいくらか。
答 総務課長 十五年度から上勝線が廃止になる。十三年度の町負担金は二百七十九千円である。

徳バス上勝線を廃止

問 委員会として 全議案を了承しました。また、救急患者輸送車の業務委託契約については、業者と再度、話し合いをすることを申し入れました。

の活動報告

老人医療費負担増に

厚生



学童保育施設を見学

九月五日に委員会を開き、一般会計補正予算、国民健康保険条例の一部改正について説明を受け審議しました。
また、学童保育のため改造した横小、生小の余裕教室活用事業施設と、保育所の門扉改良事業を見学し、理事者から説明を受けました。

福祉課長から 老人医療費の一部負担金改正について説明がありました。

問 十月からの老人医療費改正の内容は。
答 福祉課長 七十歳以上の医療費が今までは一般病院三千二百

円、大型病院五千三百円であったが、一割負担となり、所得によって四万二百円と一万二千円、低所得者は八千円が限度となった。
問 低所得者の確認はどうするのか。
答 福祉課長 申告所得により確認する。

余裕教室を改造 七月から利用

福祉課長から 十三年度補正予算で余裕教室を改造し、七月から横小は三十人、生小は二十人が学童保育に利用していると説明がありました。

問 改造費の町負担は。

答 福祉課長 事業費二千二百二十万円の、ほぼ全額が補助金で、町費は二十五万円である。

問 利用者の評判は。

答 福祉課長 特に聞いていないが、問題があれば運営委員会と協議し、スムーズな運営を図っていききたい。
委員会として 全議案を了承しました。

産業建設

蛭のえさ「カワニナ」を養殖

七月二十三日、八月二十九日に委員会を開き、今山の農業用水路改良工事、ピオトープ保全創出事業などの一般会計補正予算と、町道路線の認定、畑総水質悪化問題の対応などについて審議しました。

補正予算

問 ピオトープ保全創出事業の内容は。

答 戸川産業振興課長 場所とは与川内市ノ江橋から美馬さんの花園ぐらいいまで、の間で看板設置、雑木の伐採、蛭のえさになる「カワニナ」の養殖等を行いたい。

理事者から 畑総の水質悪化が著しいので県は十五年、十



一部改良を条件に町道認定

六年に

過施設の改良工事を行

いたい方針である。費用は

二億六千万円で、うち国が五十%、

県・町が二十五%ずつである。

問

農家も水質改良の要望が強いので、この際工事を進めてもらいたい。

答

町長 財源は厳しいが前向きに検討したい。

町道認定は四路線で、現地踏査の結果与川内木小屋線については、供用開始までに一部改良することを条件に認定しました。

常任委員会

視察報告



機械化されたトライ・ウッドの集材作業

第三セクターで六十七人の雇用創出

大分県上津江村

都会から「緑の中で暮らしたい」と二十人が働いています。山奥の小さな村で若い人が頑張っている姿を見て、勝浦町でもまだまだ取り組めることがあるのではと考えさせられました。

広域、農免、一般農道をうまく連結

熊本県天水町

天水町は、有名なみかん産地で、山全体がみかん園です。恵まれた立地条件の中で進めら

れている農道整備は、広域農道と農免農道、一般農道をうまく連結させ、生活道路としての役割も果たしています。受益面積は一千haですが、ここでも耕作放棄地が見られます。

勝浦町でも農道工事が少しずつ進んでいます。生活道路としては期待できず、完成はしたが「農作物を作る人がいない」ということにならないようにしたいものです。

産業建設常任委員会は、九月三日から三日間、大分県上津江村の緑の公共事業と、熊本県天水町で農道事業の視察研修を行いました。人口千三百人の上津江村は、総面積八十八haの九十五%が森林で占められています。衰退する林業を守るため、平成二年、第三セクターで「株式会社トライ・ウッド」を設立しました。四億五百万円の資本金の九十五%余りを村が出資しています。事業内容は、植林から伐採までの一連の作業と、作業道の開設、搬出、製材、木材加工品製造、バーク堆肥の生産、林業機械販売などを行っています。会社は黒字経営で、社員六十七人の平均年齢は三十四歳と若く、

協議会前に 議会の意見集約

● 八月十九日

上勝町で開催された第一回合併協議会の報告があり、協議しました。

問 委員の費用弁償はどうなっているのか。

答 理事 住民代表と議会代表の委員は、

地方自治法の規定に従って支給される。

問 会議は傍聴できるのか。

答 理事 写真撮影などを含め、全て公開する。

今後は、月一回開かれる合併協議会の前に特別委員会を開き、議会の意見を集約することにした。

● 九月十日

理事から 九月十一日に開かれる合併協議会の中で、「町づくり計画策定」と「新市事務所の位置検討」の二つの小委員会を設け、十二人ずつの委員

を進めたいと説明がありました。

問 合併の期日はいつに予定しているのか。

答 理事 法期限が十年三月なので、

その何か月前を想定している。

勝浦町議会として、小委員会の数を増やすなどして、委員四十五人全員が小委員会に参加できるように、議会代表委員から協議会に提言すべきだとの意見集約を行いました。

● 十月一日

議会代表の協議会委員から、小委員会に全委員の参加を求める件については賛同を得られなかったと報告がありました。

問 事務局の案を押し通そうとしているのではないか。

答 議会代表委員 そんなことではなく、他市町の委員に賛同が得られなかった。

問 町づくり策定小委員会は、各市町の主な施設三か所ずつを一日で視察するというが、それだけで十分な計画ができるのか。

答 議会代表委員 必要に応じ現地踏査や、会議も開くことになると思う。

問 現地踏査は委員全員でするのが良いのではないか。

答 理事 そういう意味から、協議会を各市町の持ち回りにしている。



福岡県上陽町議員が視察、宿泊

十月二日、「ふれあいの里さかもと」へ福岡県八女郡上陽町から八人の議員が、廃校跡地の利活用について視察に訪れました。

坂本グリーンツーリズム運営委員会の役員と、助役、産業振興課長、議会から副議長、産業建設常任委員長、総務常任委員長が出席し意見交換を行いました。



ふれあいの里さかもとへ上陽町議員が視察

一市四町合併

やめた方が良いのでは

人口五万人以上が望ましい（町長）

中西晴美 議員



町民に大きな財政負担がかかるのでは

問 平成十四年三月末の地対財特法廃止後、小松島などは三十六項目の同和对策事業を存

続することになっていて、そのための必要経費はいくらか。また、対象世帯数と人口はどうなっているか。勝浦町民にばく大な負担がかかると思測されるがどうか。

答 光井福祉課長 三十六項目の県単支援事業は、法の失効から三か年経過後に廃止する方針が県から示されている。対象世帯数や人口は、

わからない。

問 対象世帯数や人口がわからないのであれば、問い合わせさせて答弁してもらいたい。

問 勝浦と上勝の二町合併が、町民性、産業構造、地域性などを考えると一番良いと思う。一番金のかかる同和对策事業や、市街地再開発問題が不透明な現時点での一市四町合併は、やめた方が町民の幸せになると思うが。

答 町長 上勝町と合併しても、数年先には再び合併しなくてはならなくなると思う。人口五万人以上が財政運営上からも望ましいので一市四町の合併を進めたい。



港湾整備事業



衰退した二条通り

答 光井福祉課長 市、県、総務、法務両省と大臣官房管理室に尋ねたが、答えられないとの回答であった。

問 小松島市の合併構想のねらいは、港湾整備と市街地開発のようだが、勝浦町民のためにならず、膨大な財政負担がかかるのではないか。

答 秋本参事兼総務課長 港湾整備は残り二億円が単独事業になるか市単独事業になるかであり、市街地再開発事業は前期五か年、後期五

か年の十年計画であり、前期計画は日赤病院と東洋紡績跡地を再開発する事業で、民間が主体である。

問 二条通りを中心に、衰退した商店街地帯を再開発するには、いろいろな問題もあり、膨大な経費がかかることが予測されるが。

答 秋本参事兼総務課長 二条通りなどは、後期五か年の計画であり、事業スタイルも決まっていらないのでわからない。

問 平成十四年度末からの財政見込みと減債基金、財調基金などの変化、また、債務の变化はどうか。

答 秋本参事兼総務課長 公債費比率は十四年度末で二十％、十五年二十一・六％、十六年二十六・一％、十七年二十三・三％、十八年二十三・八％である。起債制限比率は十四年十四％、十五年十六％、十六年二十一・五％、十七年十八・八％、十八年十九・三％である。經常収支比率は十四年八十八・六％、十五年九十一・一％、十六年九十八・六％、十七年では百を超えることになる。基金は、財調基金、減債基金と他の基金を合わせると十一億九千六百万円余りである。起債は十四年度末で一般会計、特別会計を合わせて六十二億一千四百四十一万円で、十五年は五十四億四千三百九十四万円の見込みである。

今後の財政見通しは

新坂本トンネル

暗くて危険だ

どうするのか

本年度中に照明施設を増設

(建設課長)

森 敏治 議員



問 暗くて危険な新坂本トンネルの、照明施設をやり替えてはどうか。

答 坂井建設課長 県は、今年度中に今の配線を利用して増設していくことである。

問 坂本の旧県道は、周囲から雑木が茂り通行に支障をきたして

いる。改良と併せて検討してはどうか。

答 坂井建設課長 雑木については、要望のあった箇所から順次対応してきている。改良は、町道への移管問題も含め、さらに県に要望していきたい。



古くなった防災無線

重要な施設である。古くなって聞こえにくくなっております。やり替える計画してはどうか。

答 秋本参事兼総務課長 昭和五十七年に設置され、二十余年が経過し老朽化している。維持補修費も多くかかり、部品の確保も困難な状況であり、やり替えについてはよく検討してみたい。

町づくりのため、情報伝達システムとして非常に

防災行政無線
やり替えの
計画を

住基ネットに
ついて

よく検討したい
(参事兼総務課長)

問 防災行政無線は、安心して暮らせる

町づくりのため、情報伝達システムとして非常に

答 山平住民課長 八月七日付で町内全戸にコードの通知をしたが、現在までは、受け取り拒否も含め問題はなかった。

問 このシステムが運用されても、町民にとつてはメリットは少ない。個人情報漏れるなどのおそれがあるのではないか。

答 山平住民課長 行政改革の一環として、行政のスリム化をめざし改正されたもので、来年の八月からは、全国どこでも住民票の交付も受けられる。また、写真を付ける身分証明書にも使えるなどのメリットがある。個人情報の保護については、制度面、技術面、運用面の三つの柱で守られる。

問 合併問題で、各簡易水道組合との協議はしたのか。町の今後の方針は。

答 山平住民課長 町内には十三の水道

市町合併
簡易水道は
どうする

問 合併問題で、各簡易水道組合との協議はしたのか。町の今後の方針は。

答 山平住民課長 町内には十三の水道

組合があり、合併について組合長会議で協議した。現在は、各組合で運営しているが地方債などの問題もあるので、将来的には公営にしていくのが望ましいと思う。

福祉の
町づくりを
どう進めるのか

問 勝浦町は四国一の福祉の町と町長は言うが、他町村と比べ、どの点が優れていると思うか。

答 町長 数年前、施設の充実では四国一と新聞に掲載された。勝浦病院を核として、特別養護老人ホーム等の施設も充実しており、愛育班やボランティア活動も活発で、福祉の町としてすばらしいと思う。

問 今後、特色ある福祉の町づくりをどう進めていくのか。

答 町長 老人福祉だけでなく、少子化に対応した福祉にも力を入れていきたい。また、保健制度の改革等も国の施策に合わせてやっていきたい。



照明が暗い新坂本トンネル

一市四町合併

住民説明会の開催計画は

十月中旬以降に開きたい（理事）

中田丑五郎 議員



きめの細かい地区割を検討して、住民説明会を開きたいと考えている。

問 新市建設計画策定には、住民の意見を聞く機会として、アンケート調査や町づくり団体から意見を聞くことになっているが、その時期や内容は、

答 理事 合併協議会の計画によると、

問 上勝町は町内三十か所できめ細かい住民説明会を開き、那賀川町、羽ノ浦町では町独自の合併検討委員会等を作っている。また、小松島青年会議所がアンケート調査を行うなど一市三町では住民の意見を積極的に聞き、合併に反映させるための取り組みを行っているが、説明会等を開催する計画は。

答 理事 十月中旬以降に、町づくりの意見を聞く機会として、

道路整備の

優先採択は

問 合併による国の支援プランの一つに、合併市町村間を結ぶ道路整備を優先採択するとあるが、その支援の内容は、

答 理事 国の合併支援プランには、五十八の公共事業に重点配分する内容となっている。その中の一つに、道路整備を特に優先採択するという項目がある。沼江バイパス、徳島―上那賀線の整備を最優先配分されるよう要望していきたい。

水源林周辺の

森林調査は

問 合併後、簡易水道の管理運営主体が簡易水道組合、公営のいずれにしても、良質な水を安定的に供給することに変わりはなく、「水源林周辺の森林の調査を行うことよって整備状況を把握する」との答弁であったが、その後の取り組みは、

答 戸川産業振興課長 十三地区の水源地周辺の森林調査を森林組合に委託している。森林の管理や、法的な指定状況等の現況調査を本年度中に行う。

問 小松島市と勝名地区の東部一ブロックク広域ごみ焼却施設は、十三年度に基本計画、二十年度に施設稼働の計画となっている。合併を控え、阿南市、那賀川町、羽ノ浦町の一部事務組合と今後、複雑な問題が生じると思うが、

答 山平住民課長 合併の協議が進んでおり、そういった矛盾点が指摘されている。十月

広域ごみ焼却施設建設計画は

横瀬地区にも古紙等の回収場を

問 新聞など古紙の回収をボランティアグループの協力を得て、中角の農村婦人の家で行っているが、横瀬地区でもできないか。

答 山平住民課長 中角での古紙回収はごみの減量化に寄与している。今後、よく検討していきたい。



急がれる県道整備



横瀬地区にも古紙回収場を

合併してどんな改革ができるのか

人件費の大幅節減が（助役）

押栗義雄 議員



団体の例を見れば現在の一市四町の職員九百人が五百五十人に、議員八十人が三十人に削減されるであろう。

合併しないと

どうなるのか

町の存続が難しいのでは（町長）

問 合併を推進する条件整備と将来の町の構想は。また、合併によってどんな改革ができるのか。

答 町長 一市四町の協議会で論議を進めているが、勝浦町は住民の立場に立ち、これからの少子高齢化や、財政問題に対応していく必要がある。

答 助役 合併すれば、人件費の大幅な節減ができることが改革の最たるものである。類似

答

秋本参事兼総務課長 地方分権で事務量が増え、専門職でないければ対応できないものもある。また、平成十七年度には財政破綻の心配もあり、基金の取り崩しで何年間かは対応しても、今よりずっと厳しい行政改革が必要だが、それにも限度がある。合併により、地方分権の受け皿づくりと行財政のスリム化を図る必要があると思う。

これからの

農業施策は

やる気のある人には支援を（町長）

問

農業の町として所得向上対策や後継者対策、新規就農者対策は。

答

町長 厳しい国際化の中で頑張っている人、やる気のある人には、補助金などで支援していきたい。

問

有害鳥獣駆除費が不足した場合はどうするの。

答

町長 補正予算で対応する。

将来の

福祉対策は

町単独のサービスは削減に向けた見直しも（福祉課長）

問

今後の老人対策や福祉に対する考えは。

答

町長 高齢化の進む中で、寝たきりや病氣予防として愛育班活動や、保健師の今までの以上の指導が必要だ。介護施設の増床については、できるだけ支援していきたい。

答

光井福祉課長 今には、福祉サービスに支障が出ないよう予算を組んでいるが、高齢者が増えれば、町単独の福祉サービスは削減に向けた見直しも考えなければならぬと感じている。

ごみ処理の

問題点は

不法投棄や野焼きなども（住民課長）



後をたたない不法投棄

問

ごみ処理の現状と問題点は。また、クリーンセンターは円滑に稼働しているのか。

答

山平住民課長 分別については比較的スムーズに処理できているが、粗大ごみの不法投棄や、廃棄物の野焼きなどがあり困っている。クリーンセンターは補修を行いながらではあるが稼働に問題はない。また、耐用年限は平成二十年ごろでないかと考えている。



有害鳥獣の被害

合併

首長主導で問題も

住民と協議して進める（町長）

福德重二 議員



も「合併しなくても」との声も多い。行政主導が全て悪ではないが、住民が主役でなければならぬのに全く違った現状をどう思うか。

答 理事 二月五日の一市四町首長会談

問 一市四町での合併協議が進むなかで、住民の認識や理解度に差がある。住民の声を聞く

と、首長は合併法定協議会の設置を急ぎ、行政主導で分かりにくいとの意見が多い。小松島青年会議所が一人を対象にしたアンケート調査結果でも「よく分からない」などの回答が全体の七十%以上あり、合併そのものが住民に浸透していないことが分かる。また、そのなかには「慌てなくて

先導して合併を進めているが、理解を得るためには住民の目線に立ち協議していきたい。

答 町長 歴史的大事業であり、行政が

住基ネットシステム 中止しては

問 八月から実施された住基基本台帳ネットワークシステムが、一部自治体においては不参加や選択性を採用している中で全国一斉にスタートした。理事者は「現時点ではトラブルはないし

今後も起こらない」と言っているが、コンピューターは誤作動や漏えいは必ずある。個人情報や自治体が管理するのは困る。個人情報保護法が制定されるまでは中止すべきである。

また、不参加の場合、国からのペナルティはあるのか。



個人情報を守られるか 住基ネットワークシステム



町への移管が進む青線、赤線

答 理事 住基基本台帳法の改正で漏えいには一定の歯止めができています。全自治体がそろってこそ初めてネットワークシステムになるので、方針どおり参加する

また、不参加でも国からのペナルティはない。

また、赤線、青線も国から町への無償譲渡が始まっているが、維持管理はどのような対応するのか。

答 坂井建設課長 町道認定したからといって改良、舗装には結びつかない。従来通り緊急度、危険度を考慮して予算の枠内で対応していきたい。

また、青線、赤線についても町が管理しているが、財政が厳しいので地元の利用者とよく相談して対応していきたい。

町道認定と 予算の関係は

問 町道認定基準は昨年三月改正し緩やかになっている。申請すればほとんどが認定されるが、改良等の予算はどのように考えているか。

町道認定基準は昨年三月改正し緩やかになっている。申請すればほとんどが認定されるが、改良等の予算はどのように考えているか。

進む合併協議

住民の不安解消を

あらゆる機会に努力する（町長）

森 健 議員



問 今回の合併の枠組みは平野部から山間部まであり、自治体の規模が大きくなれば行政との意見交換も難しく、「顔の見えない付き合いにならざるを得ない」と町民は不安がっている。その戸惑いを取り除くことが大切と思うが。

答 町長 あらゆる機会を通じて住民不安の解消につとめたい。合併地区説明会で勝浦病院存続の要望が強かったが、住民の利用状況は。

問 今後の地域包括ケアは病院を核に福祉施設との連携を（病院事務局長）

答 広島県御調町では、医療と福祉の連携の課題に取り組み、寝たきりと医療費を減らすことに成功した。また、青森県の百石町では、オリジナルな包括ケアシステムを構築し、情報を共有化することによって、保健、福祉、医療の効率的な連携に取り組んで成功している。高齢化の進む



14年度で閉所の沼江保育所

問 鳥獣による農作物の被害が激増しているが、町が買い上げの対象としているものと、有害鳥獣の駆除実績は。

答 戸川産業振興課長 町内には有害鳥獣が約十種類いるが、そのうちサル、イノシシ、シ

問 鳥獣による農作物の被害が激増しているが、町が買い上げの対象としているものと、有害鳥獣の駆除実績は。

答 戸川産業振興課長 講習会は関心が高く約五十人が参加し、「捕獲おり」十六個の注文があったが、使用には免許が必要なので、取得するか猟友会の協力を得なければならない。

答 石尾病院事務局長 町内患者の約四割が勝浦病院を利用している。外来患者の九十%、入院患者の八十%が町民である。

答 石尾病院事務局長 病院と特養施設が隣接しているので、役場との連携を図り、回診業務、訪問診療、通所リハビリ等で患者の自立が図れるなど、地域包括ケア

問 沼江保育所は、休所が長く続き無人であることから、地元ではいろいろと心配しているが、今後どうするか。

答 光井福祉課長 平成十四年度末で閉

どうする休所中の沼江保育所

十四年度で閉所の方向（福祉課長）

勝浦町の包括ケアについて、どのように考えているか。

に近い取り組みのできる良い環境と思っている。



鳥獣捕獲講習会

町単独農業振興補助金

合併後どうするのか

ぜひ存続させたい（町長）

川端雅夫 議員



問 間支給されるが、申し込みはあるのか。

答 戸川産業振興課長補助金の申し込みは、六月十一日現在四百三十八万円である。また、新規就農の希望者はない。

問 町費を投入して、もみすり機と乾燥機を十台新設したが、今年

年の利用予測と利用料金は。

答 戸川産業振興課長昨年度の実績が二十三haで、今年は三十haを目標としている。料金は、十a当たり一万四千二百五十円であり、近隣町村に比べ安く設定している。

問 鳥獣害対策として、「わな」などの講習会を来年は町内で開けないか。

答 戸川産業振興課長希望者が多ければ出張、講習会を開いてもraithたいと思う。

介護保険料

三千四十円は安すぎたのでは

利用者の予測が
できなかつた
（福祉課長）

問 今年から介護保険の見直しが始まるが、今後、どのようになるのか。また、認定規準に変化はあるのか。

答 光井福祉課長 現在、策定委員会を設置し、十五年から十九年までの五か年の計画を進めている。見直しについては、実績の評価、分析の結果を見て計画をすることになっている。認定方法については、痴呆症は介護度判定に現われにくいという指摘もあり、今年度中に見直しを行う予定である。

問 給付費が高くなり、保険料が上がると予想される。現在の三千四十円は安すぎたのでは

答 光井福祉課長 初め、国の指導で額を決定

したが、ショートステイなどの利用者が計画より多くなるなど、予測できなかった。

問 財政悪化に伴い、福祉の範囲が狭くなるのではないか。今後、高福祉、高負担が予測されるが、福祉の範囲をどこまでと考えているのか。

答 町長 福祉の町と困で存続させていきたい。また、福祉を充実させることよって地域の雇用も促進され、町の活性化にもつながっていくと思う。

今山橋の

周辺整備を

問 今山橋周辺は、町内外からあゆ釣り

やキャンプ等に来る人が非常に多いので、西岡側の橋の下にはゲートポール場を、今山側にはパークキューなどができる簡単な施設を作ってはどうか。また、年二回くらいは橋周辺の河原の整備はできないか。

答 町長 河川課との協議を検討してみたい。



免許が必要な、捕獲おり



今山橋の周辺整備を

農地法見直し

耕作放棄地活用の研究を

今後の動向を注視する（産業振興課長）

溝田義昭 議員



その面積が五年間に三十%も増えていることから、都会の人でも農地を確保して農業を始めることができるよう、農地法などの見直しをすと言われているが、地理的条件に恵まれている勝浦町も、耕作放棄地対策として研究してみたい。

答

戸川産業振興課長 来年の通常国会で法改正の考えのようだが、農業委員会やJAの系統

組織でもいろいろ論議されている。今後の動向を

注意深く見守り、町内農地の有効利用について方



増え続ける耕作放棄地

向を見いだしていければと思っている。

町営住宅

ペット飼育

どんな指導を

迷惑をかけるペットは飼育禁止が入居条件（住民課長）

問

町営住宅の入居者から、隣家の犬の臭いに困っているとの話があった。犬や猫などのペット飼育に対して、入居時にどんな指導をしているのか。

答

山平住民課長 犬、猫など他人に迷惑

問

飼育禁止の条例が必要と思うが、現在、迷惑を及ぼしている犬は住宅敷地内の空き地に場所を確保して、一か所飼育してもらうよう指導してはどうか。

答

山平住民課長 条例に「迷惑行為の禁止」というのがあるのでそれに対応したい。また、空き地のあるところは入居者の理解を求め、一か所飼育してもらう方向で進めたい。

できているのか

阪神大震災後できている
（総務課長）



神原 忍 議員

後、平成九年三月につくられたので対応できる。

また、災害が発生した場合、役場内で三十分以内に臨時対策本部をつくる。

消防団は区長のもとで人命を重視しながら、地域を中心に活動してもらう。

救助のため、ヘリコプターが必要になった場合、

合併問題

住民の意見を

聞く機会は

説明会の実施を
予定
（理事）

問

町民は合併についていろいろな意見やアイデアを持っている。

今後、どのような方法で意見を聞くのか。

答

理事 説明会や出張講座の中で意見を聞きたい。また、意見やアイデアの聞き取り方法を工夫してみたい。

問

新市の計画、立案の中身を町民に対し説明や報告はどんな方法でするのか。また、その時期は。

答

理事 十一月には各種団体とのヒアリングや、まちづくりのアンケートの取りまとめを行い、来年二月ごろには構想がまとまるようにしたい。決まったことは町と協議会の広報で順次報告していく。

防災マニュアルは

問 大地震など災害が起きた時、町ではそれに対応できる防災マニュアルはできているか

県や自衛隊に要請すれば対応できる。

負傷者が出て道路が使用できないとき、ヘリコプターの要請はできるのか

答 秋本参事兼総務課長 勝浦町地域防災計画は、阪神大震災の

学校週五日制の反応は

子供たちはよかった
保護者は学力低下心配（教育長）

国清 栄 議員



問 週五日制が始まって一学期が終了した。新聞報道では、保護者の半数以上が否定的である。児童及び生徒の受

た。新聞報道では、保護者の半数以上が否定的である。児童及び生徒の受

け止め方と、保護者の理解度、学校現場の状況は

答 教育長 子供は小・中学校とも「自由

に時間が使えるようになった。友達と遊ぶ時間が増えた」など九十%以上が土曜日が休みになつて良かったと思つている。保護者は学力低下を心配している。

学校現場では、家庭と地域社会の相互理解と連携、生きる力の育成を図る教育計画である。

問 必須教科の時間削減をどう補充して

いくのか。また、補習の実態は。

答 教育長 必須科目は三割位削減されているので総合学習の時間に乗せて対応している。補習については夏休みに三年生を対象に行っている。

新しい指導要領に生徒を当てはめていくには、さまざまな問題があると思う。これらの学校教育の方向は。

問 教育長 今までの知識詰め込み主義から、基礎・基本を守り、生きる力と豊かな人間性を持った子供に育つよう努めたい。

答 教育長 今までの知識詰め込み主義から、基礎・基本を守り、生きる力と豊かな人間性を持った子供に育つよう努めたい。

中山間直接支払制度

期限切れ後の方向づけは

合併の問題もあり課題として検討中（町長）

問 中山間直接支払制度は二六集落で運営され、三年目を迎えているが問題点は。

答 戸川産業振興課長 後継者対策や制度的に税金がかかるなど、事務処理が複雑なこともある。

町内の全集落が一つの目的意識を持つよう、お互いが意見交換をしながら取り組むことが重要だ。また、制度があと二年で期限切れとなるが、今後、法的にどうあるべきと思つているのか。

答 町長 法期限後については、合併の問題もあり、今後の課題として検討中である。



中山間集落の共同作業



訓練中の防災ヘリコプター

一市四町合併

行政の上すべりでは

主役は住民である（町長）

原田昭三 議員



問 法定協議会事務局では、各市町の十年間の財政計画をもっていると思われるが、公表すべきでないか。

答 秋本参事兼総務課長 十月の協議会

に図りたい。

問 駆け込み事業の問題で申し合わせはあるのか。

答 町長 協議会で合併に向け、基金をどれ位残していくか一市四町で相談していく。

生活排水処理について

問 合併浄化槽を「特定地域排水処理事業

業」にすれば補助率の増加が見込まれるので、取り入れてはどうか。

答 山平住民課長 生活排水の基本計画に添って行っていきたい。特定地域排水処理事業を町営の事業にするかどうかは、これから研究していきたい。

合併後は農業委員会を二つにしては

問 一市四町で合併した場合、農業形態の違った平野部と中山間地域が一緒になるので、地域に合った対応が望まれる。

農業委員会等に関する法律では「一市町村に二つの農業委員会を置くことができる」とあるが、合併後の委員会をどのように考えているか。

答 戸川産業振興課長 平野部と中山間地の違いがあるので、分科会等で協議していきたい。



小学校での障害児対策は

農地法の改正について

問 農地法の改正で、条例を定めることにより、非農家にも農地取得ができるようになるというが、土地投機にならないか。

答 戸川産業振興課長 農地法の改正問題を見守りながらよく研究していきたい。

小学校における障害児対策について

問 小学校では障害児と健常児は共に生活をしているが、集団生活がうまくいかない児童があると聞く。どのような対応をしているか。

答 松浦教育長 各小學校では、障害児二人に対して一人の先生が対応しているので問題はない。

問 新聞等での合併協議会の報道では、主役は住民だと言っているが、住民に知らされていないことが多い。行政の上すべりではないか。また、六月議会に町民有志から合併に関する要望書があり、町長は「住民の理解は得られた」との回答をしたそうだが、

答 町長 住民の理解は得られているという回答はしていない。今後、住民に十分説明をしていきたい。



平野部の農地（那賀川町）

合併問題

できるのか阿南市との協議

円満解決に期待（町長）



西浜勝己 議員

一市二町でよく協議し、円満に解決してくれることを期待している。

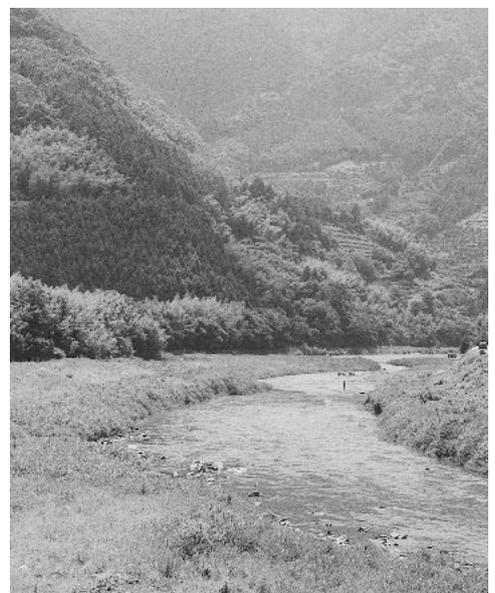
問 一市二町の広域業務の負担金を、一市四町で受け入れること

は可能と思うか。

答 町長 羽ノ浦町、那賀川町だけでなく、他の市町も一部事務組合がある。今後、調整しなければならない。

問 新聞報道によると、阿南市側は「離婚をせずに結婚話をしていようだ」と、二町の行動に言及している。また、県の見解に対して不快感を示しているようだ。これをどのように受け止め

ているのか。
答 理事 新聞報道は一部分的なこともあり、必ずしも全般的報道になっていない。



水質も悪く葦がっばいの勝浦川

答 町長 正木ダム完成後、清流でなく死に川になった。葦などで川原にも入れない。県と協議し、水辺でも親しんでもらえるよう働きかけたい。

問 畑総事業の今後の対応は。
答 町長 ダム湖の汚れがひどい。ろ過施設補修が必要だ。

問 町との公共事業
みどりの公共事業
町の考えは
町と連携を図り
取り組みたい
(町長)

問 大分県西南端の上津江村では、第三セクターによる「株式会社トライ・ウッド」を設立し、地元材活用はもとより基幹産業である林業に力を注いでいる。県の「みどりの公共事業」に対する町の考えは。
答 町長 治水、環境保全、雇用創出等、知事の唱える「みどりの公共事業」に期待している。県と連携を図りながら取り組んでいきたい。

問 法定協議会が設立されたが、羽ノ浦町、那賀川町が阿南市との広域事務組合「ごみ、し尿、消防」業務の結論が十一月までに出なければ、羽ノ浦町議は全員合併反対と聞く。そうなれば合併問題は「とんざ」するのでは。

答 町長 阿南市の動向は重要だ。一市四町のトップ会議ではそれぞれの自治体の中で解決をするということになっている。次の会議までに



完成間近の阿南消防組合

南伸高速道路 方線は当初の計画 に戻せないのか

変更は難しい
と思う (町長)

問 南伸高速道路は、当初、新浜経由で中田、前原地区を通る計画だった。マリノピアのインターチェンジはその後計画された。県南の高速道はその影響で遅れて

清流 取り戻せないか

県にも働きかけたい (町長)

問 勝浦川を「町の宝」に」とのキャッチフレーズで町の努力は認めるが、川は死んでいる。水質、整備等抜本的対策が必要だ。

